



2025春

# NEWS LETTER

# -目次-

◇FIWC 九州について	・ ・ ・ p.3
◇委員長挨拶	・ ・ ・ p.4
◇2025 年度後期活動報告	・ ・ ・ p.5
1.タコパ	・ ・ ・ p.5
2.能登キャンプ	・ ・ ・ p.6
3.西南学院大学大学祭	・ ・ ・ p.8
4.球技大会	・ ・ ・ p.9
5.年末キャンプ	・ ・ ・ p.10
6.追いコン	・ ・ ・ p.12
◇海外キャンプ	・ ・ ・ p.13
1.海外キャンプ報告会	・ ・ ・ p.13
2.中国キャンプ	・ ・ ・ p.14
◇国内キャンプ	
1.耶馬溪キャンプ	・ ・ ・ p.15
2.福智町キャンプ	・ ・ ・ p.17
◇役員紹介	・ ・ ・ p.21

## ◇FIWC 九州について

FIWC とは、フレンズ国際ワークキャンプ(Friends International Work Camp)の略称です。第二次世界大戦後復興のため、アメリカ・フレンズ奉仕団(AFSC)がワークキャンプを日本で実施しました。そして、1950 年代に AFSC から独立し、FIWC が結成されました。私たちの FIWC の「フレンズ」はその精神を受け継ごうという意思から採用されました。

それ以来 FIWC は、国内外でワークキャンプを 60 年以上実施しています。現在その支部は全国に広がり、FIWC 関東委員会、東海委員会、九州 委員会がそれぞれ自立的に活動しています。私たち九州委員会は九州(主に福岡)の大学生が主体となり、学生のみで 運営・活動しており、国外ではフィリピン、中国、ネパール、インドネシア、国内では耶馬溪キャンプ、福智町キャンプ、国立療養所(※注)訪問などを中心に活動しています。

私たち FIWC は、一般市民・学生による任意の非政府組織(NGO)であり、いかなる政治・宗教団体とも一切関係のない学生団体です。

※元国立ハンセン病療養所のこと



## ◇委員長挨拶

皆さま、はじめまして。

今年度、FIWC 九州の委員長を務めます、九州大学 3 年の溝越和実です。

私はこれまで、フィリピンキャンプに 3 回、年末キャンプに 1 回、能登キャンプに 3 回参加してきました。

その中で感じたワークキャンプの楽しさや意義を、これからもずっと学ぶことができる FIWC であってほしい、という思いから、今年度、委員長をお引き受けすることになりました。

FIWC 九州は、国内外を問わず新しい分野や幅広い活動に挑戦しています。同時に、先輩方が築いてこられたワークキャンプの根本や基盤も大切にしながら、今年度もより良い団体へと成長していけるよう尽力してまいります。

至らない点も多々あるかと思いますが、応援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

(文責：溝越)

## ◇2024 年度後期活動報告

## ①タコパ

日時：5月14日(火)

場所：九州大学伊都キャンパス亭亭舎

参加者：25名

毎年恒例になりつつある九大伊都キャンパスでのたこ焼きパーティー！

九州大学の新入生を中心に、なんと25人ほど参加してくれました。

みんなでたこ焼きを作りながら、出身地の話やFIWC九州の活動など様々なトピックで打ち解けあうことができました。このタコパに参加してくれた新入生が半年後にも各キャンパスで積極的に活動していることはとても感慨深いです。

タコパは盛り上がりますし、コスパもいいので今後も定期的に行なっていければと思います。

(文責：福山)



## ②能登キャンプ

日時：5月3～6日

ワーク内容：

2024年1月1日に発生した能登半島地震で被災した地域における災害復興支援

【1日目】・羽咋市にある拠点の掃除

・七尾市での被害を見に行く

【2日目】・輪島朝市での骨壺探索

【3日目】・珠洲市でのビニールハウス撤去

キャンパー：FIWC九州から2名とFIWC関東から1名

OBの岩永さんが引率してくださいました。

○総括

現地で支援活動が続いている「TEAM JAPAN」という団体にボランティアとして参加をしました。それまでニュースでしか見たことのない被災地でしたが、車で現地に入ると地震の猛威をひしひしと感じました。山の斜面に残るがけ崩れの跡、ひび割れた道路に倒壊した家屋や電柱・・・そんな光景がどこまでも続きます。震災から4か月経過してもまだまだ復興・復旧が足りない状況に一同衝撃を受けました。

活動は現地の方の要望を聞いて回るところから始まり、後日規模に合わせた人数でチームを作ってその要望に沿った内容で行われます。私たちFIWCのメンバーは専門技術など持ち合わせていないものの、チームの中で幅広い年代の方々と協力しながら与えられた役割を汗を流しながらこなしました。

ニーズを調査し、その解決に向けて一丸となって取り組むところはFIWCのキャンプに共通しますが、私たちはその熱量に圧倒されました。能登の復興のために全国各地から駆け付け、早朝から車で被災地へと向かいそれぞれができることをチームの中で精一杯遂行する。拠点に帰った後も本気で話し合い、意見を交換しながら明日からの被災地の

ために計画を立てる。その毎日の積み重ねがものすごいパワーとなって被災した方々を支えています。

この活動に際し、引率して下さった OB の岩永様、そして私たちを受け入れて下さった「TEAM JAPAN」の皆様には感謝申し上げます。

また、被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。(文責：福山)



### ③西南学院大学大学祭

日時:11月8~10日

場所:西南学院大学

参加者:18名

○総括

昨年は九大祭でしたが、2024年度は西南祭に出店しました。提供したものは昨年引き続きフィリピンの伝統的なお菓子である「トロン」です！「トロン」はバナナの入った春巻きのことです。周りのお店が大学祭らしい定番のものを出展する中で、FIだからこそ提供できるものにチャレンジしました。

数年前はコロナ禍で、西南祭での出店を経験した人もいなかったのが不安はありましたが、メンバーの活発な呼び込みや働きぶりのおかげで無事完売することができました！

3日目の夜には打ち上げも行い、大学、各キャンパス問わず交流する貴重な機会にもなり、仲がより深まった素敵な西南祭になったと思います！

(文責:日高)





## ④球技大会

日時:12月22日

場所:すのこ体育館

参加者:8名

○総括

今回は少し遅めの12月に運動会を開催しました！卓球、気配切り、人狼鬼ごっこ、サッカーを行いました。サッカーは外で行いましたが、12月の寒さに負けず、盛り上がりました！！

FIではスポーツをする活動は珍しいですが、体を動かすと仲がより一層深まるので、今後もスポーツイベントを続けていきたいです。

(文責：溝越)



## ⑤年末キャンプ

日時：2025 年 12 月 27 日～31 日

参加者：FIWC 九州から 4 人（その他 FIWC 他支部・namaste!からも参加）

内容

奈良県の「むすびの家」に全国の FIWC キャンパーや namaste!メンバーが集まり、毎年恒例の年末キャンプが行われました。各委員会の紹介とキャンプでの活動報告を行ったほか、FIWC の OB の方々に講演をしていただきました。ワークキャンプにどのような気持ちで取り組み、そこで何を学び、それがどのようにその後の生き方や考え方につながっているのかを学びました。

また、ワークとして自分で染色を行うオリジナル T シャツの作成やむすびの家の清掃でメンバーどうしの交流を行ったほか、夜にはワークキャンプについてのディスカッションをしました。ワークキャンプで活動する中での葛藤や悩みをシェアしてみると同じような悩みを抱えていることが分かりました。

普段の活動では自分のキャンプや同じ支部のメンバーとの交流に限られてしまうけれど、今回の年末キャンプでは同じように悩みながらも様々な場所で活動が続けている学生が全国にいるということ、こんなにも尊敬できる先輩方がいるということを知ってとても勇気づけられ、今後の活動をより頑張ろうという気持ちになりました！！

(文責：中森)



## ⑥追いコン

日時:2月8日

場所:イルマカロニ

参加者:27名

○総括

今年度は9名の先輩がFIを卒業されました！やはりアルバムとお花を渡したときは、涙と笑いに包まれて感動しました。尊敬する先輩方が9名も卒業されるのは、寂しいですが、先輩方が築き上げてくださったFIを、もっと素敵なものにしていきます。先輩方の益々のご活躍をお祈りしています！

(文責：溝越)



# ◇海外キャンプ

## 1.海外キャンプ報告会

日時：10月27日

フィリピン・中国・インドネシア各キャンプのスライドを用いた活動報告

キャンパーが現地での経験・生活についてたくさん話してくれました。春キャンプの募集についての説明も行いました。

○総括

3 キャンプがそろっての活動報告会は最近では珍しく、海外キャンプに参加しようと考えているメンバーにとっては、自分に合ったキャンプ先を見つける貴重な機会となりました。

OB・OGの方々にも発表を見にきていただき、キャンパーへの質問も複数出るなど、活気のある会でした。

この会に参加したメンバーが、新たなキャンパーとなって次の代へとバトンが受け継がれていくことで、FIWCの縦の繋がりは生まれています。

(文責：福山)



## 2.中国キャンプ

期間:2025 年 1 月 16 日～25 日

場所:中華人民共和国崇左市大新村

ワーク内容:村のリフォーム、ドア作り、服作り、椅子作り、道の舗装、  
カレンダー作り、表札作り、春節の飾り付けなど

メンバー:日本人(岩田)1 名

中国人学生(JIA)19 名

### ○総括

前回の夏キャンプで行った下見キャンプと同じ村でワークをしました。村人は8人と規模の小さい村です。最終日の夜は村人たちも参加するパーティーを行いました。学生たちは出し物をしたり、歌ったり、踊ったりしてかけがえの無い時間を過ごしました。

(文責:岩田)



# ◇国内キャンプ

## 1. 耶馬溪キャンプ

### ① 稲刈り交流会

日時：2024 年 10 月 12～13 日

○総括

今回の交流会では、1 日目に温泉とバーベキューを楽しみ、2 日目に稲刈り交流会に参加しました。稲刈りの後には、参加者全員で食事を囲み、交流を深めました。交流会には、耶馬溪キャンプがお世話になっている地域である樋桶（ひおけ）の方々や学生だけでなく、県内外からも多くの方が参加されていました。

参加者の方々から、樋桶に移住した理由や樋桶を訪れる理由などを直接伺うことで、樋桶がどのような地域であるかについて理解を深めることができました。このような会話を通じて、参加者との交流を深めることができました。

交流会は年に 3 回と開催頻度は少ないですが、今後は交流会以外の機会にも積極的に耶馬溪を訪れ、樋桶の方々との交流を続けていきたいと考えています。

（文責：安部）





## ②放課後デイサービスとのレクリエーション活動

日時：2025年1月6日

○総括

内容：児童発達支援放課後等デイサービス「虹の道」が企画した体育館でのレクリエーション活動に参加しました。

「虹の道」は、発達障害を持つ子どもたちが、大人や仲間と共に自然体験や昔ながらの農村での暮らし（わらべ歌や手仕事など）を通して、人や自然と共有する喜びを感じ、生きる力を育むことを目指している施設です。休日や長期休暇中には、子どもたちの成長を促すための様々なレクリエーション活動を企画しています。

今回の体育館での活動では、リズム遊びやしっぽ取り、三角ベースなどが行われました。年齢の異なる子どもたちが、設定されたルールの中で協力して遊ぶことで、社会性や協調性を育む貴重な機会となりました。活動の終わりには、参加者全員で感想を述べ合い、お互いの頑張りを認め合うことで、自己肯定感を高め、共感する心を育むことができました。

活動後には、子どもたちを見送ってからスタッフの方々と昼食を共にしました。その際、参加した子どもたちの現状や課題、そして発達障害を持つ子どもたちへの向き合い方について深く話し合うことができ、交流会とは異なる学びがありました。

（文責：安部）



## 2.福智町キャンプ

### ①秋の稲刈り

日時：2024年10月20日

場所：上野焼協同組合付近の道

内容：上野焼の窯開きイベントに向けて、地域の方々と一緒に沿道の草刈りを行いました。歩道に飛び出していた草がみるみるうちに刈られていき、人の通りやすい道になっていく様子が気持ちよかったです。また、町の人と雑談したり、近くのカフェの方からお茶を差し入れて頂いたり、町の方の温かさに沢山触れることが出来ました。作業後に頂いた手作りのイノシシカレーも最高に美味しかったです！

(文責:宮寄)



## ②レモン収穫祭

日時：2024 年 11 月 24 日

場所：あがのレモン畑

内容

イノシシの被害が多い耕作放棄地を再生させて、町の活性化につなげようという思いでレモン畑を始めた平野さん。その思いに賛同した多くの人の協力があり、今年で3回目となる「レモン収穫祭 2024」が開催されました。今年、FIWC 九州のメンバーを中心とした4人の学生が企画コンテンツチームとしてイベントの準備に関わったほか、当日ボランティアとして約20人もの学生がイベントを盛り上げました！私は、企画コンテンツチームのリーダーとして活動させていただく中で、地域の方との信頼関係を作るためには近道はなく、頻繁に顔を合わせて一緒にお話をしたり作業を行うことで初めて本当の意味でのつながりが生まれることを学びました。また学生ボランティアをまとめる中で、学生一人一人がイベントに参加した背景やそこでどんなことを感じたのかをしっかりと理解することが参加者も運営者も満足度の高いイベントづくりにつながるのだと感じました。

今回の経験は、地域の方々の地域活性にかける思いや時間を割いてボランティアに来る学生の思いを受け止めて、これからもあたたかく活気のあるキャンプづくりを頑張ろうという気持ちがさらに高まるきっかけになりました！！

(文責：中森)



### ③World campus in フクチ

## 福智海外企画 ~broaden your world~

日程：2025 年 3 月 9 日

場所：金田分館

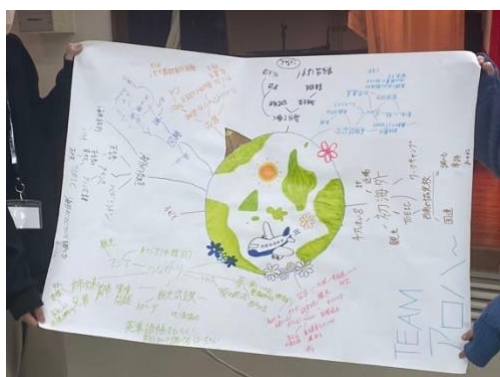
内容

福智町の子どもたちに FI の学生の海外経験や留学経験を通して「海外ってこんなにも素晴らしいところなんだ！」ということを知ってもらうための企画でした！FIWC は自分の理想の海外とのかかわり方について深掘りするグループワークやそれをもとにした一週間以内にできるアクション決めなどを行い、学生たちの夢やありたい姿を明確にするお手伝いができました。当日は9人の小中高生が参加してくれて、JALさんの台湾レクチャー企画や FI のフィリピンキャンプ紹介企画など、子供たちが全体を通して楽しんでくれていました！企画終了後も、子供たちと一緒に話したり、海外のお菓子を食べたりして仲を深めることが出来ました。

(文責：西山)







# ◇役員紹介

## 2025年度 役員紹介

### Kazumi



こんにちは！  
今年度委員長を務めます。漢語和実(かずみん)です！  
FIの魅力をたくさんの人に知ってもらえるように1年間頑張ります！  
好きなものは、旅行、ハリポタ、せんべいです🍡  
よろしくお願いします！(´▽`)

### Yu



部長委員の上水達 優です！  
キャンプ場での交流をより円滑ことが目標です。  
よろしくお願いしますっ

### Keitatsu



こんにちは！  
今年度役員を務めます。平山恵輔です！  
昨年度も役員をしていた経験を活かし、  
各キャンプの運営をサポートしていきます。  
よろしくお願いします！

## 国内係



### Shosei



こんにちは！  
今年度国内係を務めます川測将監です！  
いつも福智で活動していて、フィリピンにも参加したことがあります！(´▽`)  
各キャンプの垣根を越えて、FIのみんなが仲良くなれるようなイベントや企画を運営、実施できるように頑張ります！  
よろしくお願いします🍡

### Kohei



こんにちは！  
国内係の野田航平です。  
24年夏、25年春にフィリピンに行っていました。  
企画を通して仲のいいFIにしていきたいです！  
よろしくお願いします！！

## 広報



### Ai



こんにちは、広報の加藤達です！  
普段は福智で活動しています！  
より多くの人にFIを知ってもらえるよう1年間頑張ります🍡よろしくお願いします！

### Ayane



こんにちは！  
今年度広報を担当する立道鞠音です！  
FIの魅力をたくさんの人に届けたいです。  
よろしくお願いします！

## 福智



### Hinako



こんにちはや  
福智町キャンプリーダーの中森日菜子です！  
やってみたいことにチャレンジできる福智町で  
素敵なキャンパーたちと一緒に1年間頑張ります！  
よろしくお願いします！

## 耶馬溪



### Souta



耶馬溪キャンプリーダーの安部航太です！  
みんなが行きたくない耶馬溪を目指して  
耶馬溪の方々と協力して頑張ります！  
よろしくお願いします！

# **「News Letter 2025 -春-」**

**発行日：2025 年度 10月 7日**

**発行者：FIWC 九州**



